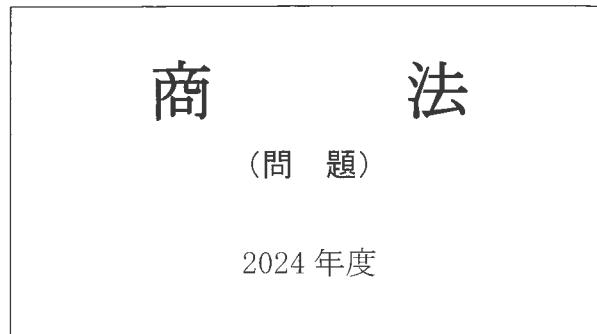




注 意 事 項

1. 問題冊子、解答用紙および貸与六法は、試験開始の指示があるまで開かないでください。
2. 問題は2頁に記載されています。問題冊子の印刷不鮮明、頁の落丁・乱丁および汚れ等に気付いた場合は、手を挙げて監督員に知らせてください。
3. 下書用紙は一人につき一枚のみ配付します。
4. ラインマーカー、色鉛筆、修正液等は、問題冊子・下書用紙に使用することを許可しますが、解答用紙に使用した場合は、不正行為とみなすことがあります。
5. 貸与六法への書き込みは、不正行為とみなすことがあります。
6. 試験開始の指示の後、解答用紙表紙の所定欄に、受験番号、氏名を記入してください。受験番号は正確に3箇所に入力してください。読みにくい数字は採点処理に支障をきたすことがあるので、注意してください。
7. 試験終了の指示が出たら、すぐに解答を止め、筆記用具を置いてください。終了の指示に従わず筆記用具を持っていたり解答を続けた場合は、不正行為とみなすことがあります。
8. 試験終了後、問題冊子、下書用紙は持ち帰ってください。
9. いかなる場合でも、解答用紙は必ず提出してください。
10. 解答用紙に記載の注意事項もあわせて確認してください。

問題（80 点）

Aは、大学の理工学部で燃料電池エンジンの開発とその自動車への応用に興味を持ち、卒業後も大学院でその研究を長く続けていた。Aの親友のBは、同じ大学の経営学部を卒業した後、起業を模索し、Aの研究成果を実現して商業ベースの事業とすることを目指してAとともに甲株式会社を設立した。同社の発行済株式は、Aが45%、Bが15%、自動車部品製造業者であるC社が15%、そして投資ファンドのD社が25%を保有している。甲社の取締役はAおよびBの2名であり、取締役会は設置されていない。Bは甲社の代表取締役をつとめ、もっぱら新型エンジンの販売ルートの開拓を担っている。一方、Aは、甲社の開発部長に就任し、新型エンジンの研究開発から製造までの一切を取り仕切っている。

大手自動車メーカーの乙株式会社は、燃料電池エンジンの将来性に目をつけ、このエンジンの研究開発および製造販売までを一貫して行う丙株式会社を、完全子会社として設立した。そして、丙社の代表取締役としてAを招聘した。Aは、依然として甲社の取締役にとどまっており、丙社の代表取締役に就任したという事実をBに告げていない。親会社である乙社の業界での信用を背景として丙社の業績は当初より好調で、初年度の経常利益が1億円であった。他方、Aが丙社の業務執行に力を入れたため、甲社技術陣への指導・指揮が停滞し、そのためにエンジンの開発・製造の全工程が遅延し、結局甲社の売上げは大幅に減少した。

その後、Aが甲社設立の際に現物出資したいくつかの特許権を得るため、丙社は甲社に対してそれら特許権の丙社への売却を持ちかけた。それを受け甲社では株主総会を開催して、時価（評価額）の6割の価額で特許権を丙社に譲渡する案が検討された。BおよびC社が強く反対したものの、AおよびD社の賛成により、この譲渡案が可決され、当該金額で甲社より丙社にこれらの特許権が譲渡され、その移転登録が完了した。

〔設問1〕（30 点）

甲社は、新型エンジンの売上げの大幅な減少によって生じた損害について、Aに会社法上の責任を追及することができるか。

〔設問2〕（50 点）

甲社は、特許権を取り戻すことができるか。仮に取り戻すことができない場合、甲社はAに対してどのような会社法上の責任を追及することができるか。

〔以下余白〕